

地域が学び、見守り・支える活動

福祉会だより

令和5年7月号No. 4

羽島市社会福祉協議会事務局

令和5年8月4日発行



子どもも大人もより暮らしやすく

長間南・長間東福祉会

※福祉会活動ガイドライン（第5版）にも掲載しています

自治委員、民生委員、社会福祉委員、地域役員（長間東地区の各組合長）、シニア会の代表者、子ども会会長が集まり、2か月に1度、ふれあいサロン活動を行った後に話し合いや学習活動をしています。

☆5月の活動の様子☆

最近、国内で地震の発生が多くなっていることもあり、5月は防災について羽島市防災研究会の方から学びました。阪神淡路大震災を背景とした映画の冒頭部分を視聴しながら、「枕元に懐中電灯、スリッパやスニーカーなどの履物を置いておく」「避難所では食料が限られているため、各々非常用の食料を用意しておく」など災害が起きたときのために備えておくことを学びました。

福祉会のメンバーからは、「映像で見ると迫力があり、当時のことを思い出すことができた」「改めて防災について考えることができた」と感想を聞くことができました。

代表の福田さんは、「今回の防災について学んだことを生かし、次回の福祉会活動では、近所や地域で地震が起こったときに気をつける場所やどのような人が地域にいるのかを話し合おうと思う。そして、地震が起きたときに、自分自身がどのような行動・サポートをすればよいのか考えていく」とお話しされました。



▲非常食について学んでいる様子

お知らせ

～福祉会活動出前講座の追加版について～

「福祉会出前講座追加版」を本おたよりと一緒に配付させていただきますので、ぜひご活用ください。

また、「福祉会出前講座追加版」につきましては、現在実施されている福祉会の構成員の方にもお渡しいただければと思いますので、よろしくお願いします。

「福祉会だより」は共同募金の配分金により作成しました。

